

窓物語

2009.正月号

VOL. 17



気づきについて

先日友人I氏(42歳で結婚。めでたし。めでたし)の結婚式の時、隣の席の友人Y氏が、料理が運ばれて来るたびに携帯電話でパシャパシャ写真を撮っているのです。ずいぶん奇妙なやつだな、と思いました。確かにいつもの宴会料理よりは、はるかに豪華です。私も4時からの結婚式なので昼飯抜きで挑みましたが、しかし、なにも写真に撮るほどではないし、どうしたものかと訊いてみたら、なんと、

「実は、俺、ブログしているのよ」と言うのです。

「へえ、ブログって、日記でしょ?毎日書いてんの?」

「そう、毎日。20何人かが、毎日ちゃんと見てくれてるもんだから、休むと催促来るんだ。だから、やめるにやめれなくて、石附君も始めたら、結構面白いよ」

「は、はあ、すごいな」ただただ、関心するばかりであった。

早速、家に帰って彼のブログをチェックしました。なんと、今年の2月からほぼ毎日更新されてるではないか。仙台でおでん屋さんに入らりに入ったら、半熟卵のおでんが出てきてそれにびっくりしていたり、お昼に家に帰ったら食べるものが無いので、冷蔵庫の中のしいたけを炒めて、しいたけ丼にして食べました。とか、本当は見てもいけない彼のなんともすばらしい?食生活を垣間見るような感覚でした。ただ、すごいと思うのは、そのどうでもいまいような料理でも、とってもおいしいと言葉巧みに表現していることと、掲載されている写真の構図が芸術なのです。さすが武蔵野美術大学卒です。

毎日は常に平凡です。みんながそうとは言い切れませんが、たいがいの人は平凡です。そんな中では変化がある事にさえも気づかずに生活しているのかも知れません。

毎日車で通っている道も、自転車で通れば景色が変わって見えます。だけど、自転車に乗らないから、いつまでも変化に気づきません。常に、目的地まで急いで行ってしまふのです。

とてもいまいなと思って始めた事も、何日が続くと飽きます。3日坊主になります。

話が、だんだんと、まとまらなくなってきました。何を言いたかったのかと言えば、彼のように、常にネタを探して生活している人は、小さな変化も決して見逃さないんじゃないかな。ということ。・・・気づきを大事にしましょう・・・

石附義和がお勧めする泣ける本 BEST 3

西田敏行司会の「誰も知らない泣ける歌」というテレビ番組を観るのを楽しみにしています。毎週それを観ては泣いて、娘にバカにされています。

第1位

「明日の記憶」

荻原浩

光文社

第2位

「一分間だけ」

原田マハ

宝島社

第3位

「象の背中」

秋元康

産経新聞社



あえて、解説はしません。読んでみてください。

ちなみに、うちに来る税理士のおばちゃんに紹介したら、涙目で大変感謝されました。

El osito polar

Hans de Beer



どうして、ホッキョクグマは絶滅の危機にさらされているのでしょうか？それはあきらかに簡単です。北極の氷が解けて無くなろうとしているからです。生活の場が失われているのです。なぜ北極の氷が解けるのでしょうか？答えは、人間社会が排出するCO²によって、地球温暖化が進んでいるからです。

「でもこれはホッキョクグマだけの問題でしょうか？ホッキョクグマは、北極での食物連鎖の頂点です。一方、人間はいわば地球全体の食物連鎖の頂点です。このまま温暖化が進めば、人間が地球温暖化の影響で困難な場面に直面する番です。ホッキョクグマが『かわいそう』ではなくて、それは人類の明日の姿なんです」



先日**環境マイスター**を取得してきました。環境問題の現実をしっかりと学んできました。聞けば聞くほど恐ろしくなります。例えば、地球温暖化の影響で、北極の氷が溶けると言うことは先の文章に書きましたが、実は北極の氷が溶けても海面は上昇しません。コップの氷が解けてコップから水があふれるということは無いでしょ。ただ、氷が解ければ海流が弱くなるのです。海の生態系が、がらりと変わります。実は海面上昇の問題は、温暖化による熱膨張とアルプスなどの氷河が溶けて流れているからです。大陸の砂漠化も進んでいます。異常気象による災害も

増えております。台風・ハリケーンの数是多くならないだろうと言うことですが、一つひとつの規模が大きくなって来ているとの事です。そこで、ささやかれているのが食糧危機です。世界人口も増加していますが、災害、気象変動によって食料自給率の低下が起こると言うことです。

京都議定書で、日本は、1990年を基準として、2012年までにCO²を6%削減すると約束しました。しかし、現段階では減どころか、6.2%も増えております。2012年は、本当は通過地点なだけで、2020年には25~40%、2050年には80~95%削減しなければいけないのです。大丈夫でしょうか？しかし、これは世界の約束事です。これを諦めれば、私たちの世代は、まだ好き勝手な事が出来るかもしれませんが、子供の世代、そして孫の世代になれば、果たして地球に人類は生存してられるのだろうか？とても不安です。

「そんな事は分かっているよ」そうですよね。みんな分かっているのです。分かっているけど自分にメリットが無いから関心が無いのです。だけどメリットになる事で、環境にも良かったら関心がありますよね。



①窓から熱が47%も逃げるので、しっかり窓を断熱化すれば、とってもお得です。しかも、結露もなくなります。CO²も減ります。いいことばかりです。大事なのもう一度言います。「エコ窓にすると、とってもお得！」

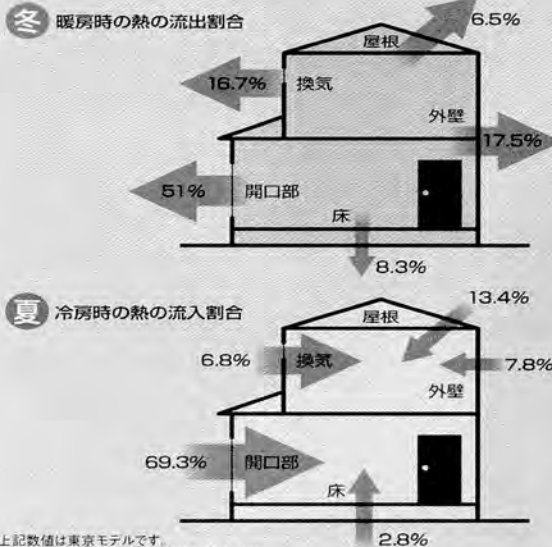
②火力発電所の出すCO²が一番多いのです。なので灯油の暖房よりも、エアコン暖房のほうが現段階ではCO²の排出量が多い事になります。新エネルギーに変える必要があります。

注目! 

**いくら暖房の温度を高くしても、
部屋が暖まらない理由は窓にありました。**

窓からの熱の出入りが一番大きい。

窓やドアから出入りする熱は、屋根や外壁よりもはるかに大きな割合を占めています。高断熱タイプの複層ガラスは、熱の流出を軽減できるので、冬は暖房の効きがよくなります。また遮熱タイプの複層ガラスは、熱の流入を軽減できるので、夏は冷房の効果がよくなります。

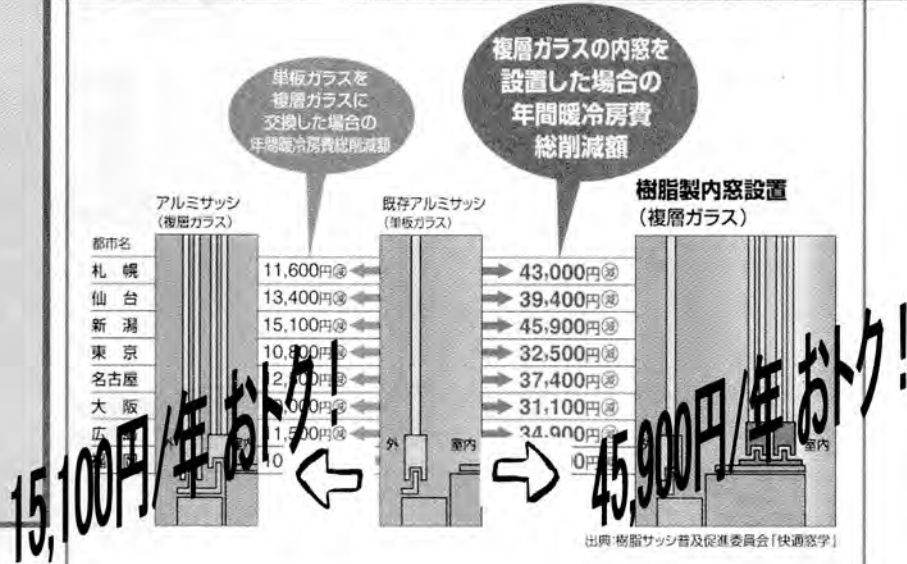


※上記数値は東京モデルです。
※樹脂サッシ普及促進委員会「快適窓学」より

省エネ住宅は冷暖房コストをぐんと節約。

一般的に窓を含めトータルに断熱化をはかった住まいは、暖房で約半分、冷房で約1/3の費用を節約できます。月々の光熱費、住まいの耐久性などを考えると、断熱化住宅は大変おトクな選択といえるでしょう。

現在の単板ガラスをペアガラスにするだけで、年間15,100円のおトクです。なんと、後付二重サッシのペアガラス仕様では、年間45,900円がおトクなんです！ エコ窓でがっちり！



新エネルギーの救世主太陽光発電は、

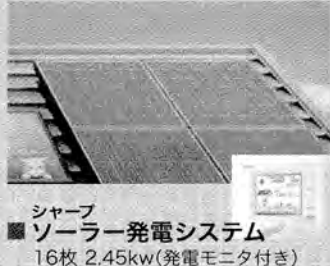
実はエコしておトク!

新築時に取り付ければもっとおトク! 光熱費0円住宅も可能です!

ソーラー発電システムで1ヶ月最低200kw発電すると電気代が約5,300円	エコキュートで月々の給湯のガス、または灯油代がなくなる	IHクッキングヒーターで月々のガス代がなくなる	さらに深夜電力でエコキュートでお得な深夜電力を利用できるから	月々かかるエコキュートとIH調理器の電気代	約16,300円
プラス	プラス	プラス	プラス	プラス	お得になります

※上記の光熱費は平均的な4人家族の一例です。あなたの家の光熱費をあてはめて下さい。

おすすめプラン



雪国仕様標準工事費

※売電用のメーターややりくりナイト変更申請手続き、エコキュート土台工事、補助金申請等も含まれます。

1ヶ月の給湯費が約1500円でOK!

補助金1台につき42,000円!

チョーフ
エコキュート EHP-3744GPXH
自動湯張り、追い炊き機能付きフルオート会話のできるインターホンリモコン



IH専用鍋5点プレゼント!

チョーフ
IHクッキングヒーター CIH-307D

今まで多く支払っていた熱量費で、最新機器が買えるってすごくお得ですね!

月々 ナント!
16,653円

おすすめプランセット価格
2,290,000円(税込)
(ソーラーローン 固定金利3.75%の場合 180回(15年)ボーナス払いなし)

我が家の冬の過ごし方・冬の思い出



スキー場のロッジで飲む酒が好きだ。外の凍てつく寒さの中からぼかぼかのお店に入ると、次第に顔がゆでダコのように暑くなる。キンキンに冷えた缶ビールをまずは一気に飲み！次におでんをつまみにまた一本。いつの間にか目の前に積み上げられた缶がタワーのようになった時、強制送還される…。

石附義和



私の小さい頃の思い出は、学校へ行く時は道路の雪が、今では除雪されて道幅も広く歩くのに楽ですが、私達の頃は道幅も狭く馬の背中のように真ん中だけ高く、一歩足を踏み外すと雪の中に入り、大変な目に遭った事を思い出します。一列に並んで登校した事を思い出します。今の子供達は親の車に乗り登校しているのを見ると、幸せだな～と思います。

高橋健二



私の家は5・6歳の頃、外壁が土壁だったので柱との間にそこらじゅう隙間があり、夏は風が入ってきて良いのですが、冬になると新聞を折りたたんで、隙間ふさぎをしたのを覚えていてます。吹雪になると雪が枕元に入ってきて、隣に寝ている父を見ると、手ぬぐいをかぶっていたのを思い出します。その父も他界してから27年になります。

林 四郎



家に10年位前まではこたつがありました。今はこたつが無くストーブの床暖房になっています。冬に仕事でお客様の家に行った時にこたつがあると、懐かしい気分になります。やっぱり冬になると、家の中にこたつがあるといいもんですね!!

佐藤 明



幼い頃は雪が降ってくるのが待ち遠しくて、早く積もって欲しいと願っていました。スキーが出来る！かまくらが作れる！雪合戦も出来る等、楽しみばかりでした。今では雪に対するイメージが、面倒なものだというふうになってしまいました。雪を楽しめるような心の余裕を持って生活していきたいです。

佐藤義祥



冬になると子供の頃に外で遊んだ事をよく思い出したりします。雪ダルマ・雪合戦・かまくらなど、ブルブル震えながら、暗くなるまで遊んだものでした。今では暖かい部屋で、しんと積もる雪を眺めている方が、自分的に落ち着く様です。いつの間にか大人になってしまったのですねえ(笑)

油井善正



私の通っていた小学校は教室の窓から、すぐグラウンドが見えました。冬になると雪で真っ白になったグラウンドに社会の授業で、クラス全員一列に並んで雪を踏み潰して、日本地図を描いた事を思い出します。北海道から本州に移る時カーカー言いながら楽しく歩きました。みんな覚えているかな～？昔は体を張った遊びいっぱいあって良かったよえ～(^^)

高橋貴子



子供の頃、よく足の指が『しもやけ』になっていました。雪の中、長靴もびしょびしょになって帰り、こたつに入るとかゆいやら痛いやら…もうばんばんに腫れて苦しくなると母が縫い糸を足の指にぐるぐる巻いて、ボンレスハム状の赤くなった所に、針先を焼いて刺し、黒っぽい悪い血を出してくれたものでした。

最近は早く夜の家事を終わして、お風呂に本を持ち込み半身浴で、冷え性対策がてら、ゆっくり汗をかくのが一番の楽しみです。あまり長く入りすぎて、娘に呼びにこられる事もしばしば(^^)

石附純美



今は暖房器具も色々な種類の物が沢山ありますが、私が小さい頃は、いつも祖母が豆炭を熾していました。ガスコンロで真っ赤になるまで、豆炭を焼いているのを、祖母の隣で見ていたものでした。こたつも豆炭だった為、中は暗いし、もぐれないので、首までしか入れませんでした。この時期になると、思い出します。

菅野春江

サッシ・ガラスのプロショップ



石附硝子株式会社

電話 0238 (21) 6677
Fax 0238 (22) 6949
Email ishizuki@poplar.ocn.ne.jp

ISHIZUKI

石附硝子

検索

窓物語 編集後記



明けましておめでとうございます。今年度始まりの窓物語、楽しんで頂けましたでしょうか？今年は「丑年」です。丑年生まれの人性格は冷静沈着な性格で、温厚なタイプが多いそうです。近頃、嫌なニュースをよく耳にしますが、丑年の性格に習って温厚な気持ちでいれば、少しは世間も変わるのではないのでしょうか？

貴子